

計画推進評価部会における意見と県の対応

資料3

NO	委員名	項目名	意見	対応	記載内容等
「新かながわランドデザイン実施計画」の進行管理について					
1	米田委員	プロジェクト3 二次評価について	プロジェクト3「未病・健康長寿」の二次評価「今後の課題と対応の方向性」に「住民主体の通いの場を増やすため、民間の力も活用しながら」とある。この「民間の力も活用」という表現が、民間に対して通いの場を増やしていくことを丸投げしているように受け取られると感じた。より適切な表現として、「支援」などのニュアンスを含む文言に変更することを検討してほしい。	ご意見を踏まえ、二次評価に記載しました。	二次評価の「今後の課題と対応の方向性」に記載しました。
2	米田委員	プロジェクト9 二次評価について	プロジェクト9「生活困窮」の二次評価「今後の課題と対応の方向性」に、「官民の連携を深めていく必要がある」とある。「連携」という言葉に加えて、官民の役割分担や協働のあり方を明確にするような記載を盛り込むことを検討してほしい。	ご意見を踏まえ、二次評価に記載しました。	二次評価の「今後の課題と対応の方向性」に記載しました。
3	川向委員	プロジェクト2 二次評価について	プロジェクト2「教育」の二次評価「今後の課題と対応の方向性」にある「外国につながるのある子どもたちの権利も守られるように」という表現を「すべての子どもの権利」に変更することで、県が外国籍の子どもたちだけに注力しているという誤解を与えず、すべての子どもの権利が守られていることが伝わるのではないかと。	ご意見を踏まえ、二次評価に記載しました。	二次評価の「今後の課題と対応の方向性」に記載しました。
4	坪谷委員	プロジェクト2 二次評価について	県が外国籍の子どもたちだけに注力しているという誤解を県民に与えないよう、二次評価「今後の課題と対応の方向性」3番目の項目を修正した上で、最後の項目にすることで、個別・各論的な議論から、総括的な議論へと記載を整理する形になるのではないかと。	ご意見を踏まえ、二次評価に記載しました。	二次評価の「今後の課題と対応の方向性」に記載しました。
5	小野島委員	評価の方法について	A、B、Cの3つのグループに分けて議論を進めるのであれば、グループ会議での評価基準をある程度揃えることが望ましい。	ご意見については、次期実施計画の策定作業の中で検討してまいります。	

NO	委員名	項目名	意見	対応	記載内容等
6	米田委員	評価の方法について	K P Iの数値をもとに評価を行うという大前提はあるが、社会状況は着々と変化しており、目標を達成したものがあつた際に、県として「どこまでやりたいと思っているのか」、「社会の状況に合わせてどこまでやるべきなのか」といった点については、「伸びしろを明確にしておく」という視点で評価を下げるといった考え方も1つの方法だと思う。K P I以外の要素を加味して評価することは、あってもよいのではないか。	ご意見については、次期実施計画の策定作業の中で検討してまいります。	
7	中村委員	評価の方法について	K P Iの数字だけでは誤解を招きかねない場合については、丁寧に言語化して説明することが重要である。	ご意見については、次期実施計画の策定作業の中で検討してまいります。	
8	川向委員	プロジェクト9二次評価について	データ集にあるとおり、生活保護世帯数は増加しており、プロジェクト9「生活困窮」を「順調」と評価することは難しいと考える。こうした客観的なデータで二次評価を補足することが重要である。	ご意見を踏まえ、二次評価に記載しました。	二次評価の「今後の課題と対応の方向性」に記載しました。
9	川向委員	評価の方法について	現在の計画期間中にも、二次評価の判断根拠となるよう、これまで質的には理解できても、数値化されていなかった定性的データを生成A Iなどを活用して分析・可視化してみるのはどうか。利用者の声や相談内容を分析し、どのような感情や課題があるのかを補完データとして提供すれば、より客観的な判断が可能になる。また、県にとっても次期計画のK P I策定に向けた試行にもなり、同時に、得られた言葉や要素を基に施策の柔軟な見直しや改善が可能になる。	ご意見については、次期実施計画の策定作業の中で検討してまいります。	
10	小野島委員	評価の方法について	数字、特にK P Iを基準として評価を行う形を基本としているが、K P Iに重みをつけることも可能だとは思う。また、K P Iだけでは表せない部分については、総合評価を行う際には記述で対応していくことが適切だと思う。	ご意見については、次期実施計画の策定作業の中で検討してまいります。	
11	河野委員	プロジェクト9二次評価について	プロジェクト9「生活困窮」の評価を1段階下げた件については、急激な物価の高騰の中で困窮に苦しんでいる方々がいる状況を踏まえると、議論の内容も非常に的確で妥当ではないか。	ご意見を踏まえ、二次評価に記載しました。	二次評価「評価のポイント」に記載しました。

NO	委員名	項目名	意見	対応	記載内容等
12	河野委員	評価の総括について	<p>「プロジェクト評価の一覧」の総括の記載について、「概ね順調に進捗している」という結論で問題ないが、これまでの議論を踏まえると、「今後の動向を注視しながら、柔軟に対応をしていく体制をとり続けていきます」といった、今後の向かうべき方向や意思表示を記載しておくことで、より県民の皆様により添った印象を与えるのではないかと懸念を述べた。</p>	<p>ご意見を踏まえ、評価報告書に反映しました。</p>	<p>評価報告書「2 総合計画審議会の評価」【総合計画審議会による総括】に記載しました。</p>